

AJU

コンビニハウス

会報

編集/コンビニの会事務局

連絡先/〒452-0822 名古屋市西区中小田井 2-431

TEL/FAX(052)505-6082(コンビニハウス)

障害をもつ人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

コンビニの会

定価/150円

昭和54年8月1日第三種郵便物承認

第136号



パリ地下鉄の通路の展示

アジアの笑顔にまなぶ

写真家 長谷川 友子

この原稿を書いている12月中旬、パリではフランス全土で増税に反対するデモが繰り返されている。凱旋門に落書きや破壊、シャンゼリゼ通りでは、催涙弾がデモ隊に使われたり、車が燃えている新聞のニュース写真を見た。現在もデモは収まっていない。11月上旬にパリへ出かけていた。その直後の出来事。ここ10年余り、1年おきに、写真のイベントを観るために出かけている。(今回は1回飛ばして4年ぶり)。

シャンゼリゼ通りは、11月の中旬から街路樹はイルミネーションで飾られ、歩道には裝飾されたクリスマスマーケットで、クリスマスの飾りや手づくり品などが売られ、家族や子供へのプレゼントを買い人だにぎわう。楽しいはずのこの時期に、どうなるのかと気にかかる。2年前、ライブ会場やレストランでテロが起き、犠牲者が出たのも11月だった。

(次頁へ)

出かける前に、BSのドキュメンタリー番組で、韓国が北朝鮮と国交回復に向かう中、韓国政府の脱北者への対応が、保護から厳しいものになり、脱北者は再び他の国への移住を考えているという内容であった。命がけで脱北をして、やっと新しい暮らしを築きかけた矢先、再び他の国に……。いつの時代も誰もが、政治と時代に翻弄される。今回のパリ行きは、ソウルで乗り換えた。シンガポールやバンコクの大きな空港に引けを取らない美しい空港になっていた。華やかなソウル空港では『韓国にいる』実感がなく、私にとっては「乗換地ソウル」でしかなかった。



ソウル空港のおもてなし

### 雑記 ごまめの歯ざしり

#### 冬の楽しみ

冬になると楽しみが1つ増える。家の小さな畑に代わるがわる野鳥がエサを食べに来るのだ。何を食べているのかは分からないが盛んに地面をつつきながら歩き回っている。多分土の中のミミズや虫、草の種などを食べているのだろう。一番よく見かけるのはスズメとキジバトだ。年中いる鳥たちだが、うちの畑に降りて来るのは冬だけだ。スズメは2〜3羽がいつも群れで行動している。キジバトはペアの2羽でいることが多い。

珍しい鳥としてはツグミ、シロハラ、ジョウビタキなどが来る。これら冬鳥はいつも単独で行動していて1月〜3月頃は毎日交代で降りて来る。ツグミがしばらく歩き回っていたかと思うと次はジョウビタキ、ジョウビタキが飛んで行くとまた別の鳥、という風にちゃんと順番を守っていて争いになることはない。鳥はマナーがよい。

冬鳥の姿を見かけなくなったある春の日、菜の花の茂みが激しく揺れていることがあった。見てみると小鳥が1羽飛び出した。観察を続けるとまだ2〜3羽いるようだ。一体何の鳥だろう。後で図鑑を調べてみたらカワラヒワだということが分かった。スズメよりやや小型の鳥で肌色の太いくちばしを持っている。

この辺りにも1年中いるらしいがこれまで気が付かなかったのは警戒心が強くて下の方に降りて来ないせいだった。カワラヒワは草の種子がエサなので菜の花の種の誘惑には勝てなかったようだ。すぐ傍の道路を人が通っても構わず種をつついている。そんな光景がここ数年ずっと続いている。

寒い間、窓をそつと開けて小さな畑をのぞくのが私の毎年の日課となった。鳥たちに癒されながら冬は知らない間に過ぎて行く。

(会報委員 大島 伊久代)

## 新年あけまして おめでとぅございます

特定非営利活動法人コンビニの会 理事  
社会福祉法人エゼル福祉会 評議員

宮川 優子



2019年がスタートしました。エゼル福祉会、NPO法人コンビニの会にとって再びのスタートの年になります。多くのみなさんのおかげで新施設を立ち上げることができました。新たな体制で充実した福祉を目指していく覚悟です。今後もご支援お願い申し上げます。

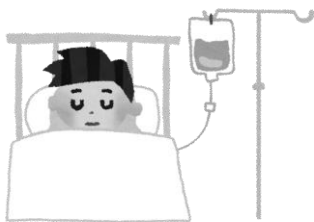
昨秋、息子が肺炎で協立総合病院に緊急入院しました。当初は意識もなかなか厳しい

状況で、普段割と冷静な私が大混乱してドクタールの言葉を受け取れなかったほどです。仕事为重なり大変忙しい時期でしたから、家族だけで入院を見守ることは不可能でした。以前、足の手術の時は予定を立てて長期の入院をしました。しかし、緊急入院は幼い頃以来久しぶりでした。翌日になり、慌ててあちこちに連絡をしました。

従来は完全看護なのだから医療と福祉サービスを同時に使うことはできないという理由で介護者の派遣は認められてはいませんでした。ただし、名古屋市中では重度障害者入院時コミュニケーション支援事業が2009年からスタートしていましたが、病院スタッフとの意思伝達や意思表示ができない場合に限り、介護者は身体の介助はできま

せん。また、対象者は原則単身ということですから家族と一緒に暮らす息子は対象外になります。相談員の有満さんから2018年4月から障害者総合支援法の改正で重度訪問介護の支援区分6の利用者に入院中の介護者派遣の支援が可能になったことを教えてもらいました。医療と介護の連携は難しいのですが、上手くいけば大きな可能性がありそうです。

もし重度訪問介護が利用できなければ私は後ろ髪を引かれる思いで、息子を病室に残して予備校に仕事に出かけなければなりません。入院当初は点滴や酸素などがつながらず、食事も採れない



ので見守ることしかできないとしてもです。苦しそうな呼吸の音を聞いて早めに痰の吸引をお願いしたり、落ち着く姿勢を作ってコッスを看護師に伝えたり、調子が良いときに気持ちらしく好きな音楽を聴かせたりすることくらいはできました。

今回この制度を利用し普段から自宅に來てもらっている3つの事業所から病院に介護者を派遣してもらいました。10日ほどたつと狭いベッドの上でいつもの不随意運動が出てきましたから日に日に回復を実感し、痩せた以外は変わりなく退院できました。本人と家族に安心をもたらすこの制度に助けられました。

平成元年生まれの息子は、福祉制度が充実していく中で成長できました。養護学校（現

特別支援学校）に入学した頃は卒業後の行く先はないと言われていましたが、卒業時には障害者自立支援法の下で、毎日通える本人の障害にふさわしい施設を選ぶことができました。障害の重い人は短命なのがあたりまえだったことを覆し、高度な医療と介護のおかげで今日も生きています。制度は不備なところもありますが、着実に前に進んでいることは間違いありません。

今回の息子の入院で家族以外に大勢の信頼できる介護者に支えられていることを改めて実感しました。重度心身障害者がべつたり家族に依存しないことを自立とするならば、エゼル福祉会としてはこれからも障害者と家族の自立を様々な面から支援していきます。

本年はエゼル福祉会にとって新しいチャレンジになります。特に名古屋特別支援学校から新しい仲間を迎えることはうれしいことです。通所施設WILL赤城は色々な障害を持った仲間が支えあいながら過ごせるのが特徴でしたが、VOLON歌里ができることで一部の仲間が移り少し寂しくなります。それぞれの要望に細やかに対応することを目指します。特に医療ケアが必要な仲間が安心して通えるような体制を作るよう努力していきます。



元気になりました(〇)



# 新施設VOLO歌里募金 現状報告

集計期間 11月1日 ~ 12月31日  
12月31日現在 募金累計額 7,905,340 円

水野 香織  
鍵谷 美奈子  
棚野 友美  
丹羽 正子  
若林 隆三  
佐藤 美紀子  
木全 和巳  
手塚 洋子  
石田 栄孝  
大嶋 千波  
蟹江 宣英  
熊木 治司  
榊原 正人  
松ヶ下 りつこ  
山本 知佳子  
伊藤 一雄  
丹羽 恵子  
松田 マキコ  
斎藤 啓治  
江口 美智子  
高嶋 敏久  
増田 修  
松島 直美  
生駒 とし子  
天津 真由子  
永口 愛子  
林 勇輝  
半田 素子  
藤本 由紀子  
市岡 幸隆  
土屋 修  
松原 伸二  
浅井 潤子  
板倉 朝子  
伊與田 聡登史

大島 伊久代  
大西 哲平  
越智 菜穂子  
加藤 諒  
小出 朱里  
杉山 恵美子  
鈴木 丈登  
鈴木 高雄  
高嶋 敏久  
坪内 美紀  
仲 綾乃  
中山 順生  
日比野 恵子  
満田 ひかり  
箕浦 忠  
渡辺 ひかり  
石原 敏行  
成田 明美  
池野 明子  
戸水 純江  
山上 小枝子  
佐々木 正和  
村田 昌史  
大嶽 恭子  
澤 幸子  
市江 由紀子  
片桐 美由紀  
栗本 博美  
榊原 芳典  
寺澤 慶英  
寺澤 春喜  
古澤 亜希  
増田 真衣子  
渥美 道恵  
入山 葉子

川口 いづみ  
岩田 絵美子  
加藤 佐知子  
小島 裕子  
山田 智子  
山田 雅子  
岸本 峰子  
榊原 正美  
竹村 史弘  
山岡 昭子  
望月 裕見子  
澤 道晴  
クリスマス会参加者  
WILL 親の会

(敬称略・順不同)

## 【お詫び】

会報 135 号に「富永紀子」様と記載  
ありましたが、正しくは「富永典子」  
様の間違いでした。大変申し訳ありま  
せんでした。お詫びして訂正いたしま  
す。



寄付を頂いた皆様  
ありがとうございました

# 2018クリスマス会

12月2日（日）西区役所講堂でクリスマス会を開催しました。



クリスマス会スタート!!  
司会の大西・曾我です



開会宣言（石原優樹さん 高嶋一臣さん）



サンタさん 登場〜♪



イオン・ワンダーシティサンタさんから  
プレゼントをいただきました

当日ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。（順不同・敬称略）

水野 雄大 和田 遥香 土田 京加 松本 浩希 伊藤 翔磨 熊澤 実玲 白木 愛理 花木 優也  
鬼頭 優菜 川島 佳純 山崎 華乃 今井 仁美 岩田 萌那 大柳 美幸 奥野 晴菜 井口 結唯  
井上 祐子 長谷川 友子・伴 舞子（カメラマン）



Ritz(リッツ)

今年も楽しい演奏  
ありがとう♪



C'mon,baby アメリカ♪  
流行のUSAでノリノリ〜♪

## お楽しみ大抽選会



誰に当たるか…ドキドキ♡



1等!!名古屋マリオット  
アソシアホテルお食事券  
当たった〜♪

ご寄付・ご支援いただいた皆様(順不同)

イオンワンダーシティ 様

(株)東海電気システム

代表取締役会長 増田修 様

(株)カミヤマ印刷 様

GTソリューション(株) 様

高橋会計事務所 様

(有)鈴幸商会 様

オートサービス名古屋(株) 様

三井住友海上火災保険(株)

愛知支部一宮支店 様

日新火災海上保険(株)

東海第一事業部営業第2課 様

愛知銀行 小田井支店 様

大垣共立銀行 小田井支店 様

中小田井郵便局 様

## マイクロバス購入決定

通所部 主任

大西 哲平



11月に行われた理事会でマイクロバスの購入が決定しました。重度心身障害をお持ちの方や家庭の事情等で自宅からの通所が難しい方の送迎を中心に運行が見込まれます。

新施設の設立が決まり、現在WILL赤城に通所している方々のおよそ半数（12名）が新しい施設V.O.L.O歌里に移動する事になりました。また、特別支援学校からも卒業後通所を希望される方がいらっしゃる中で、送迎に対する期待はとて大きいことが伝

わって来ます。人手不足の影響もあり、現在法人が所有しているリフト車だけでは送迎のニーズに充分にこたえる事が出来ない課題が出てきました。

通所施設は、障害のある方々が日中の活動を楽しめるようにすることで評価を得ると言う価値観に留まらず、もっと包括的な支援の場が必要とされている事を強く感じました。

送迎に対して切実なニーズがある一方で、法が定める送迎の報酬単価の低さや使用する車両の金額が高額なこと、維持費も高額であるという課題があります。

今年度でいえば、V.O.L.O歌里の建設に多額の自己資金が投じられ、さらにマイクロバスで1000万円近い金額を支出することとなります。それでも現在通所して下さる利

用者さんとこれから卒業される生徒さんから、送迎の心配に囚われず中身で通所先として選んで頂ける事や、職員が現場実践で充分に力が発揮できるよう業務の効率化がマイクロバスを購入することで実現できると信じ、理事会に採決を依頼しました。結果、理事の方から法人の資金としては厳しいものの、利用者さんや現場目線に立ったご理解を頂き購入する事となりました。

マイクロバスの運用は将来的には送迎だけでなく、外出等余暇支援にも活かされる事が期待できます。運転手さんを募集したところ大型免許を持って長年無事故で運転して来られた方からの応募もありました。

当初は予定していなかった多額の出費もあり、建設資材の不足に依る工事期間の延長を余儀なくされるなど、新施設の幕開けまで



には困難も多くありますが、障害のある方々や親御さん、建設寄附をお寄せ下さった皆様と共に春の訪れを待ちたいと思います。

## 送迎は通所施設の役割？

エゼル福祉会 理事長

大川 美知子

通所する施設が出来上がってもそこに通って来る手段が無いと施設はただの建物に過ぎません。この1月に47歳になる障害のある娘が20歳のころ飲食店を経営していた私はその当時、開店準備をしてくれていたパートのおばさんが急に辞めることになり、当時通所していた通所施設への送迎ができなくなっていました。

その時に、困りごとを相談できる唯一の通所施設に「夕方の送迎だけで良いので助けて欲しい」とお願いしましたが、既に送迎の対象になっている人達が決まっていて、送迎は出来ませんと断られ本当に困り果てたことを憶えています。

親しい友人から福祉学部の学生さんを紹介してもらい、タクシーに同乗して自宅まで送ってもらうことになり何とか乗り切りました。

私たちの時代は、今とちがってヘルパー制度も通所の送迎もほとんど無かったし、障害のある子供の母親は我が子の送迎はもとより子供を通わせる通所施設を造ることまで引き受けざるを得なかったのです。

その辛い経験が後の「レスパイト・コンビニハウス」の出発のつながったのですから、結

果的にはとても価値のある苦勞をしたことに今は感謝しています。

辛かった自分の経験と周囲の助けを得ることで、送迎問題を乗り越えられた感謝の思いから職員のマイクロバス購入の提案に理事として賛成致しました。



リフト付きマイクロバス（イメージ）  
定員10名（内車いす7台）

# 《活動状況》

## 11月

- 1日 社協 施設長セミナー (榊原・大西)
3. 10. 17日 重度訪問介護従業者養成研修
- 7日 インフルエンザ予防接種
- 9日 社協 労務管理研修 (寺澤)
- 12日 ヘルパー学習会
- 14日 理事会
- 14日 同朋大学訪問 (佐藤・山下)
- 15日 きょうされん重度重複障害者部会 (溝口・坪内)
- 19日 名古屋生活支援事業所連絡会 (榊原)
- 22日 介護技術研修 体位変換移乗 (山下)
- 22日 W I L L 親の会
- 23日 WILL 祝日開所
- 26日 障害医療知識研修 (坪内・山下)
- 21日 会報発送
- 22日 強度行動障害研修 (久野)
- 29日 理事会
- 30日 廣瀬先生ケースワーク会議

## 12月

- 2日 クリスマス会 西区役所
- 4日 ハローワーク求人フェア (榊原・寺澤)
- 4日 会計研修 (渥美・大西)
- 5日 きょうされん会議 (佐藤)
- 5日 車いす贈呈式 天神山中学校 (大川・水谷)
- 6日 会報会議
6. 7日 サービス管理者養成研修 (佐藤)
- 8日 自立支援協議会人材募集 (大西)
- 8日 評議員会
- 9日 きょうされん全国大会学習会 (山下)
- 12日 知的障害者研修 (曾我)
- 18日 職員研修 あいほうふ吹田 仁木様
- 19日 タイムマネジメント研修 (有満・大西)
22. 23日 社会福祉士実習指導者講習 (榊原)
- 29日 通所部総括会議



## クリスマス会収支ご報告 2018/12/2

収 入				支 出			
明 細		寄付のお品	現 金	明 細		寄付のお品	現 金
1 クリスマステケット売り上げ	116名様		72,000	1 会場費	西区役所講堂		15,200
2 寄付金				2 舞台・演出備品			25,883
ご支援いただいた企業様	9社		190,000	3 出演・謝礼費等			77,184
ご支援いただいた個人様	1名		1,800	4 その他・雑費			64,812
3 寄付のお品				景品購入・お土産お菓子			
ご支援いただいた企業様	5社	ホテル食事券 ハム詰め合わせ お米 カップ麺 BOXティッシュ ブランケット タオル 貯金箱 キャラクターうちわ レターセット 皿・タンブラー エコバック コーヒー お茶		保険・ボランティア懇親会・駐車場代等			
				5 抽選の品		特別賞 ステーキ肉 1等 ホテル食事券 2等 ハム詰め合わせ 3等 お米 4等 日用品セット 5等 カップ麺 BOXティッシュ	
				6 参加者様へのお飲み物		コーヒー お茶	
合 計			263,800	合 計			183,079

※差引残高は公益事業会計に繰入します。

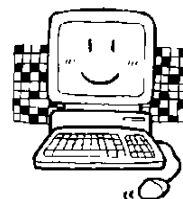
差 引 80,721



## 事務局コーナー

# 「ご協力ありがとうございました」

11月～12月（敬称略・順不同）



### ★ ご寄付いただいた方々

（クリスマス会 寄付者）

中谷 暢宏

### ★ 物品寄付をいただいた方々

（コンビニハウス）

天神山中学校 東名メンテナンス

宮川 等 佐藤慶太

（WILL）

名古屋食肉三水会協同組合

（株）さんわコーポレーション

安永秋憲 石原優樹 木下楓奈子

水野裕哉 上田知子 河田笑子

宮田まどか

### ★ 活動にご協力いただいた方々

（コンビニハウス）

大森 信 石原正寅 辻本道子

黒田隆広 林 和子 高塚朱美

藤本菜見 楠村ゆき 石原まち

寺西 剛 星野恭兵 伊藤翔磨

松本浩希 奥村 修 土田京加

鬼頭優菜 鈴木千春 村上梨央

堀田若菜 和田遥香 山川尚輝

藤本由紀子 酒井まみ子 茂手木利典

（WILL）

須田たみ子

### ★ 会報発送ボランティア

佐藤美紀子 半田素子

吉田嘉子 丹羽正子



# エゼル福祉会 2018 クリスマス会



昨年行われたクリスマス会に多くの皆様ご参加いただき誠にありがとうございました。  
本年も皆様にとりまして輝かしい一年になりますことを心からお祈り申し上げます。

## 銀行口座

三菱東京 UFJ 銀行 小田井支店 店番 238 (普) 口座番号 1440108

特定非営利活動法人 コンビニの会

郵便振替口座 番号 00800-2-35190 コンビニの会

ご意見・ご質問・お問い合わせは下記までお寄せください。

障害のある人たちの地域生活を支援する

特定非営利活動法人

〒452-0822 名古屋市西区中小田井 2-431

**コンビニハウス** Tel (052) 502-7731

Fax (052) 505-6082

**コンビニの会**

理 事 宮川 優子

U R L <http://ezeru.sakura.ne.jp/>

E-mail [convini@beach.ocn.ne.jp](mailto:convini@beach.ocn.ne.jp)

